

編集後記

最近、新任教員の自殺がしばしば報道されている。1 例をあげると、新任教員として公立小学校に赴任し 2 年生を担任した A 先生が、アパートの自室で首つり自殺を図った。深夜に及ぶ保護者からのクレームへの対応に追われ、実質的な超過勤務時間が 1 か月に 100 時間を超える状況であったという。A 先生は母親へのメールで、「毎日深夜まで保護者から電話が入ってきたり、連絡帳でほんの些細なことで苦情を受けたり…つらいことだらけだけど…泣きそうになる毎日だけど…」と疲弊した心情を綴っていたという。

モンスター・ペアレントという言葉がある。これは研修組織「TOSS」の代表者である向山洋一氏が、学校に理不尽な要求を突きつける親のことを怪物にたとえて名づけた和製英語であるといわれている。アメリカでは、1991 年頃からヘリコプター・ペアレント—学校の上空を旋回しながら、常に自分の子どもを監視し、何かあればすぐに学校に乗り込んでくる親—が問題になっていた。日本におけるモンスター・ペアレントは、1990 年代後半から目立つようになった。医療機関でも同じような現象がみられ、モンスター・ペイシエントと呼ばれている。2007 年 8 月に行われた読売新聞社の調査では、2006 年度の 1 年間に医師や看護師などの医療従事者が、患者や家族から暴力を振るわれたケースは、少なくとも 430 件あり、理不尽なクレームや暴言は 990 件あったという。このために、警察官 OB を雇って患者への対応に当たらせている病院が 21、暴力行為を想定した対応マニュアルを作成した病院が 10 であったという。院内暴力を早期発見するために監視カメラや非常警報ベルを設置した病院もある。

山田尚登氏の巻頭言「いまどきの大学の精神科医局事情」は、さまざまな思いをめぐらせながらおもしろく読ませていただいた。若い研修医や助手と、上級医師または教授とのほのぼのとした語らいの中で、本誌の前号で取り上げられた「精神医学的コミュニケーション」が「いまどき」風に習得されていくのであろう。治療方針と内容を、患者とその家族に十分に説明することの重要性をきちんと習得し、ていねいな包括的医療をいかにして行っていくのが、モンスター・ペイシエントへの対応のポイントであろう。

本誌では、「研究と報告」、「資料」、「試論」、「ミニレビュー」、「展望」、「私のカルテから」、「紹介」、「動き」、「精神医学への手紙」、「書評」など、さまざまな投稿欄を設けている。さらに編集委員は知恵を絞って、魅力的なテーマによる特集も企画している。読者の方々からの積極的な投稿と提案をこころから期待している。(K.Y.)

■ 編集委員

飯森眞喜雄

井上 新平

小島 卓也

小阪 憲司

松岡 洋夫

三國 雅彦

山崎 晃資

(ABC 順)

精神医学 (第 50 巻 第 2 号)

2008 年 2 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

2008 年年ぎめ予約購読料 30,600 円 (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・小松原

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) 丹水社 電話 (03) 3561-1323

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は(株)医学書院が保有します。

・ JCLS (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム (電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199) の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ (インターネット) は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。